

# 平成25年度開設予定大学等一覧

平成24年11月

## 1 大学を設置するもの 3校

| 区分 | 大学名      | 学部等名<br>学科等名               | 入学定員      | 位置  | 設置者                          | 留意事項   | 備考  |
|----|----------|----------------------------|-----------|---|------------------------------|--|---|
| 公立 | 秋田公立美術大学 | 美術学部<br>美術学科<br>(3年次編入学定員) | 100<br>10 | 秋田県秋田市  | 秋田市                          | ・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。   | 秋田公立美術工芸短期大学（廃止）<br>工芸美術学科 (△ 60)<br>産業デザイン学科 (△ 90)<br>平成25年4月学生募集停止                       |
| 私立 | 札幌保健医療大学 | 看護学部<br>看護学科               | 100       | 北海道札幌市  | 学校法人<br>吉田学園                 | ・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。<br><br>・非常勤実習指導員採用の必須要件に「業務経験は、概ね5年以上（略）」とあるが、「業務経験」は「臨床経験」等に適切に改めること。<br><br>・保健師希望者の選抜時期を明確にし、「公衆衛生学看護学概論」（3年次前期）等の履修に支障がない計画とした上で、それを着実に履行すること。<br><br>・教員の補充を必要とされた6授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた6授業科目については、確実に専任教員を配置すること。<br><br>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。<br><br>・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。 |   |
| 〃  | 岡崎女子大学   | 子ども教育学部<br>子ども教育学科         | 100       | 愛知県岡崎市  | 学校法人<br>清光学園                 | ・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。<br><br>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。<br><br>・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。  | 岡崎女子短期大学<br>幼児教育学科第一部〔定員減〕 (△ 80)<br>経営実務科〔定員減〕 (△ 20)<br>平成25年4月名称変更予定<br>経営実務科 → 現代ビジネス学科 |
| 計  | 3校       | (3年次編入学定員)<br>3学部 3学科      | 10<br>300 | 認可申請に伴う入学定員の減<br>(2年次編入学定員) △ 0<br>(3年次編入学定員) △ 0<br>大 学 △ 0<br>短 期 大 学 △ 250 | 大 学 院 △ 0<br>高 等 専 門 学 校 △ 0 |  |   |

(注) 「備考」欄の( )書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

平成25年度開設予定学部等一覧

1 学部を設置するもの

6校

平成24年11月

| 区分 | 大学名    | 学部名<br>学科等名   | 入学<br>定員   | 位置   | 設置者            | 留意事項  | 備考  |
|----|--------|---|--|--|----------------|---|---|
| 私立 | 共立女子大学 | 看護学部<br>看護学科  | 100  | 東京都千代田区  | 学校法人<br>共立女子学園 | ・特になし。  | 共立女子短期大学<br>看護学科（廃止）<br>平成25年4月学生募集停止 (△100)  |
| 〃  | 関東学院大学 | 看護学部<br>看護学科  | 80   | 神奈川県横浜市  | 学校法人<br>関東学院   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊かな人間性を培い、学生一人ひとりに向き合う対話型の教育、少人数教育、そして経験学習重視の教育によって、学生の個性と知性を磨き、看護専門職として主体的に自立して専門性を発揮するための看護実践知、さらに他職種間で共同し地域社会と連携するための実践知を養育する」という高い教育研究上の目的と身に付けさせるべき7つの資質や能力等を掲げていることから、その目的が確実に達成されるよう、専門科目、実習科目を中心に教育課程を不断に検証しつつ、特色ある教育課程の充実に努めること。</li> <li>・実習科目について、担当する専任教員の負担に配慮するとともに、講義に支障がない時間割となるよう配慮すること。</li> <li>・入学選抜方法が11種類と多様であり、スポーツ推薦など学力試験を課さない選抜方法もあることから、多様な選抜方法が混在することによって入学後の学修に支障が生じないよう履修指導等に配慮すること。</li> <li>・工学部物質生命科学科の入学定員超過の是正に努めること。</li> </ul>  |   |
| 〃  | 常葉学園大学 | 法学部<br>法律学科<br>健康科学部<br>看護学科<br>静岡理学療法学科<br>健康プロデュース学部<br>健康栄養学科<br>(3年次編入学定員)<br>こども健康学科<br>(3年次編入学定員)<br>心身マネジメント学科<br>(3年次編入学定員)<br>健康鍼灸学科<br>健康柔道整復学科<br>保健医療学部<br>理学療法学科<br>作業療法学科<br>社会環境学部<br>社会環境学科<br>(3年次編入学定員)<br>保育学部<br>保育学科<br>(3年次編入学定員) | 160<br>80<br>60<br>80<br>5<br>50<br>5<br>110<br>5<br>30<br>30<br>40<br>40<br>100<br>5<br>80<br>5 | 静岡県静岡市<br>(法学部, 健康科学部 )<br>静岡県浜松市<br>(健康プロデュース学部,<br>保健医療学部,<br>静岡県富士市<br>(社会環境学部,<br>保育学部 ) | 学校法人<br>常葉学園   | <共通事項><br>・3大学を統合するスケールメリットや学部等の多様性、総合大学としての利点をどのように活かしていくのかを開設時まで具体的に計画を策定し、着実に実行すること。<br>・大学統合の第二段階(中・長期的対策)について、開設時まで完成年度までの4年間の計画を具体化し、その計画を着実に実行すること。<br>・同様の学部・学科が併存していることで受験生等が混乱する懸念があることから、理念や特色、地域性等を整理し、受験生等がその相違を理解できるよう適切に周知すること。また、設置の理念・目的や学部・学科名称を再検証し、その結果を基に学部・学科を適切に組織し、又は教育課程に反映させること。<br>・全学部統一入試を導入することについて、同一試験問題で入試を行うことと学部学科のアドミッションポリシーとの関係を学生等に分かりやすく整理するとともに、分野が異なる学部学科を併願することによる目的意識の低下等の対応策を明確にし、着実に実行すること。<br>・既設の大学等の消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に努めること。<br>・統合に伴う学部新設案件について、既に教育研究に必要な施設及び設備が備えられていることから、審査基準上、設置経費が標準設置経費を下回っても差し支えないが、校舎(機械、器具等)の整備にあたり教育研究に支障がないよう配慮すること。<br>・認可後に補助金(静岡県及び静岡市)が収納予定であることから、収納後、速やかにその旨を報告すること。<br>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討すること。(常葉大学短期大学部 日本語日本文学科、音楽科、英語英文科) | 浜松大学(廃止)<br>ビジネスデザイン学部<br>経営情報学科 (△120)<br>(2年次編入学定員) (△20)<br>(3年次編入学定員) (△5)<br>サービスと経営学科 (△120)<br>(2年次編入学定員) (△10)<br>(3年次編入学定員) (△5)<br>健康プロデュース学部<br>健康栄養学科 (△80)<br>(3年次編入学定員) (△10)<br>こども健康学科 (△60)<br>(3年次編入学定員) (△20)<br>心身マネジメント学科 (△110)<br>(3年次編入学定員) (△15)<br>健康鍼灸学科 (△30)<br>健康柔道整復学科 (△30)<br>保健医療学部<br>理学療法学科 (△40)<br>作業療法学科 (△40)<br>平成25年4月学生募集停止<br>(2年次編入学定員については、平成26年4月から、3年次編入学定員については、平成27年4月から学生募集停止)<br>富士常葉大学(廃止)<br>総合経営学部<br>総合経営学科 (△160)<br>(3年次編入学定員) (△45)<br>社会環境学部<br>社会環境学科 (△130)<br>(3年次編入学定員) (△10)<br>保育学部<br>保育学科 (△80)<br>(3年次編入学定員) (△5)<br>平成25年4月学生募集停止<br>(編入学定員については、平成27年4月学生募集停止) |

(注)「備考」欄の( )書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

| 区分 | 大学名      | 学部名 | 学科等名 | 入学定員 | 位置 | 設置者            | 留意事項  | 備考   |
|----|----------|-----|------|------|----|----------------|---|--|
| 私立 | (常葉学園大学) |     |      |      |    | (学校法人<br>常葉学園) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地方自治未来論」について、関連科目との差別化をはかるとともに、授業科目名称を再考し、適切に修正すること。</li> <li>・本学部の特色として、国際化への対応を掲げるのであれば、国際化に関する授業科目の充実を図り、体系的な履修が可能となるような教育課程に改めること。</li> <li>・養成する人材像及び涵養する能力に照らしたカリキュラム上の工夫が明確になるようにカリキュラムポリシーに明記し、教育課程を不断に検証すること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul> <p>&lt;健康科学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「成人・老年看護学実習」に関して、成人看護学と老年看護学の双方の内容を含み、さらに一つの授業科目としてのまとまりを持つ授業科目となるよう必要に応じて見直しを図るとともに、成人期と老年期のそれぞれの患者を受け持つことができるよう患者選定の調整を行うこと。併せて、実習に係る教員間の授業内容の連携体制を充実させること。(看護学科)</li> <li>・実習担当教員等の増員を図り、大学全体で教育の質を担保できる体制を整備すること。(看護学科)</li> <li>・助教や助手が不足していると考えられるため、臨地実習の巡回指導等の負担を考慮し、助教や助手を充実すること。(看護学科)</li> <li>・一部の教員の負担が過大であるため、教員の教育研究活動等に支障を来たさないよう負担軽減に配慮すること。(静岡理学療法学科)</li> <li>・同じ理学療法士を養成する保健医療学部理学療法学科と異なる年間履修登録上限を設定しているが、その妥当性を再検証し、必要があれば見直すこと。(静岡理学療法学科)</li> <li>・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた2授業科目については、確実に専任教員を配置すること。(静岡理学療法学科)</li> </ul> <p>&lt;健康プロデュース学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習期間中に開講される他の科目を欠席することが前提の時間割となっているため、学習時間の確保の重要性に鑑みて、実習時期を適切に見直すこと。また、やむを得ず授業を欠席する学生に対する補習授業等の支援体制を充実させること。(健康栄養学科)</li> <li>・こども健康学科という学科名称の教育課程や養成する人材像等との関係が分かりにくいいため、学科名称を再考するとともに、受験生に誤解が生じないよう教育内容や取得可能資格等を適切に周知すること。(こども健康学科)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身マネジメント学科という学科名称と体育学を主眼とした教育課程及び養成する人材像等との関係が分かりにくいいため、学科名称(英語表記を含む)を再考するとともに、受験生に誤解が生じないよう教育内容や取得可能資格等を適切に周知すること。(心身マネジメント学科)</li> <li>・多様な資格取得(受験資格取得含む)が可能であるが、必要科目が不明確であるため、複数の資格取得を希望した学生が必要な取得科目・単位について、履修モデル等を用いて、具体的且つ正確な情報を学生に提供すること。(心身マネジメント学科)</li> <li>・「身体」「心理」を主とした教育課程であることが、不明瞭であることから、履修指導において領域と必修科目の関係を含めた教育課程の意図が学生に十分理解できるよう配慮すること。(心身マネジメント学科)</li> <li>・学部長や学科長については役職者としての職務負担があることから、担当授業負担の軽減について配慮すること。(心身マネジメント学科)</li> <li>・「経路経穴の診断学」及び「経路経穴の診断学実習」の教科書について、依然として幅広い内容を教授する教科書となっていないため改めて。(健康鍼灸学科)</li> </ul> | 教育学部<br>生涯学習学科<br>(3年次編入学定員) [定員減] (△5)<br>心理教育学部<br>(3年次編入学定員) [定員減] (△5)<br>外国語学部<br>英米語学科<br>(3年次編入学定員) [定員減] (△5)<br>グローバルコミュニケーション学科<br>(3年次編入学定員) [定員減] (△5)<br>平成25年4月名称変更予定<br>常葉学園大学→常葉大学<br>常葉学園短期大学→常葉大学短期大学部 |

(注)「備考」欄の( )書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

| 区分 | 大 学 名    | 学 部 名<br>学 科 等 名                 | 入 学<br>定 員 | 位 置      | 設 置 者           | 留 意 事 項   | 備 考  |
|----|----------|----------------------------------|------------|----------|-----------------|---|--|
| 私立 | (常葉学園大学) |                                  |            |          | (学校法人<br>常葉学園)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。(健康鍼灸学科)</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。(健康柔道整復学科)</li> </ul> <p>&lt;保健医療学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容や授業形態を勘案し、その内容等に応じた専門性を有する適切な教員を配置するとともに、教員の負担にも配慮すること。</li> <li>・同じ理学療法士を養成する健康科学部静岡理学療法学科と異なる年間履修登録上限を設定しているが、その妥当性を再検証し、必要があれば見直すこと。(理学療法学科)</li> <li>・授業内容や授業形態を勘案し、その内容等に応じた専門性を有する適切な教員を配置するとともに、教員の負担にも配慮すること。(作業療法学科)</li> </ul> <p>&lt;社会環境学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然科学分野を軸とした教育課程であるが、学部学科名称から社会科学分野を中心とした印象を与えるため、受験生等が教育内容を誤解しないよう適切に周知すること。</li> <li>・志願者等の件を踏まえ、広報や教育内容を充実し、継続的な学生確保に努めること。</li> </ul> <p>&lt;保育学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> </ul> |  |
| "  | 名古屋学院大学  | 法学部<br>法学科                       | 150        | 愛知県名古屋市  | 学校法人<br>名古屋学院大学 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの履修モデルの特色や養成する人材像に応じて培う能力には違いがあることから、教育課程における、必修・選択必修・選択の区分を適切に見直すこと。</li> <li>・教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、教育研究の継続性を踏まえ、完成年度までに今後の採用計画など、教員組織編成の将来構想を分野バランスも考慮しつつ策定し、確実に実行すること。</li> </ul>  |  |
| "  | 関西国際大学   | 保健医療学部<br>看護学科                   | 80         | 兵庫県三木市   | 学校法人<br>濱名学院    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生看護学選択分野及び助産看護学選択分野の選抜に関して、教育効果の向上や学生の目的意識の明確化に配慮し、選抜時期の早期化や実習時期の調整等に努めること。</li> <li>・実習指導者の位置づけ・役割が非常に重要であるため、適切な採用及び役割の明確化に努めること。</li> <li>・認可後に補助金(兵庫県三木市)が収納予定であることから、収納後、速やかにその旨を報告すること。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討すること。(関西国際大学 人間科学部経営学科)</li> </ul>  |  |
| "  | 吉備国際大学   | 地域創成農学部<br>地域創成農学科<br>(3年次編入学定員) | 60<br>10   | 兵庫県南あわじ市 | 学校法人<br>順正学園    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生確保の見直しについて、初年度以降も継続的に入学定員を充足する学生募集を行うことができるかの説明が不十分であると考えられることから、例えば、本学部を淡路島に設置する意義と利点を更に強調するなどして、大学が設定した入学定員を継続的に充足させるよう努めること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>・学生定員に対し、実験室(化学)(138.2㎡)が狭小と思われことから、必要であれば拡充を検討するなど、授業運営に支障のないように努めること。</li> </ul>   | 国際社会学科(廃止) (△50)<br>(3年次編入学定員) [定員減] (△10)<br>国際環境経営学部(廃止)<br>環境経営学科 (△70)<br>平成25年4月学生募集停止<br>[編入学定員については、平成27年4月<br>学生募集停止]<br>社会学部<br>スポーツ社会学科 [定員減] (△20)<br>心理学部<br>心理学科 [定員減] (△10)<br>平成25年4月名称変更予定<br>社会学部→社会科学部 |

(注)「備考」欄の( )書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

| 区分 | 大 学 名    | 学 部 名                   | 学 科 等 名 | 入 学 定 員     | 位 置               | 設 置 者           | 留 意 事 項   | 備 考            |
|----|----------|-------------------------|---------|-------------|-------------------|-----------------|---|----------------|
| 私立 | (吉備国際大学) |                         |         |             |                   | (学校法人<br>順正学園)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療福祉学部看護学科の入学定員超過の是正に努めること。</li> <li>・認可後に補助金（兵庫県南あわじ市）が収納予定であることから、収納後、速やかにその旨を報告すること。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討すること。（吉備国際大学 社会学部国際社会学科、保健医療福祉学部社会福祉学科、国際環境経営学部環境経営学科、心理学部心理学科・子ども発達教育学科、文化財学部文化財修復国際協力学科・アニメーション文化学科、通信教育部心理学部子ども発達教育学科 九州保健福祉大学 社会福祉学部臨床福祉学科・子ども保育福祉学科、保健科学部視機能療法学科、通信教育部社会福祉学部臨床福祉学科 吉備国際大学短期大学部保健科）</li> </ul> |                |
| 計  | 6 校      | (3年次編入学定員)<br>11学部 17学科 |         | 35<br>1,330 | (2年次編入学定員)<br>大 学 | △ 30<br>△ 1,150 | (3年次編入学定員)<br>短 期 大 学   | △ 145<br>△ 100 |

2 短期大学の学科を設置するもの 1校

| 区分 | 大 学 名      | 学 科 名 | 入 学 員 人 定 | 位 置   | 設 置 者        | 留 意 事 項   | 備 考 |  |
|----|------------|-------|-----------|---|--------------|---|-----|--|
| 私立 | 仙台青葉学院短期大学 | こども学科 | 100       | 宮城県仙台市  | 学校法人<br>北杜学園 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の補充を必要とされた10授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の補充を必要とされた9授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</li> <li>・運動場、体育館が別地にあることから、教育に支障がないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</li> <li>・開設年度の前々年度における経常経費依存率が同系統の学校法人の平均値に比べ低く、かつ完成年度のこの比率が低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に努めること。</li> </ul> |     |  |
| 計  | 1 校        | 1学科   | 100       | 今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況<br>大 学            Δ 0   短 期 大 学            Δ 0 |              |   |     |  |

3 学部の学科を設置するもの 3校

| 区分 | 大 学 名  | 学 部 名<br>学 科 等 名               | 入 学<br>定 員 | 位 置                     | 設 置 者          | 留 意 事 項   | 備 考  |  |
|----|--------|--------------------------------|------------|-------------------------|----------------|---|--|--|
| 私立 | 学習院大学  | 文学部<br>教育学科                    | 50         | 東京都豊島区                  | 学校法人<br>学習院    | ・特になし。  |  |  |
| “  | 相模女子大学 | 学芸学部<br>生活デザイン学科<br>(3年次編入学定員) | 45<br>5    | 神奈川県相模原市                | 学校法人<br>相模女子大学 | <p>・本学科における人材養成の方針として、中小企業においてレッサーデザインを担当できる学生を育成することが一つの具体的指標とされているが、大企業と中小企業への就職の違いによる人材養成目的の違いや、大学が構想する人材養成像を実現できる教育課程になっているかについての説明が不十分であると考えられることから、4年制大学の中にある本学科において育成する人材や卒業後の進路について、対外的に周知を図った上で学生募集を行い、教育研究活動を行うなど、構想した設置計画を着実に履行すること。</p> <p>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討すること。(相模女子大学 学芸学部メディア情報学科)</p>                 | <p>学芸学部<br/>日本語日本文学科<br/>(3年次編入学定員) [定員減] (Δ5)<br/>英語文化コミュニケーション学科<br/>[定員減] (Δ20)<br/>(3年次編入学定員) [定員減] (Δ10)<br/>メディア情報学科 [定員減] (Δ15)<br/>(3年次編入学定員) [定員減] (Δ5)<br/>人間社会学部<br/>社会マネジメント学科 [定員減] (Δ20)<br/>(3年次編入学定員) [定員減] (Δ10)</p> <p>相模女子大学短期大学部<br/>生活デザイン学科(廃止) (Δ110)<br/>平成25年4月学生募集停止</p> |  |
| “  | 東京医科大学 | 医学部<br>看護学科                    | 80         | 東京都新宿区                  | 学校法人<br>東京医科大学 | <p>・本学附属の東京医科大学病院での実習に関して、現段階で調整が十分に図られていない懸念があることから、特に小児看護学や母性看護学等の専門領域の実習施設が不足しないよう、早急に詳細な実習計画を策定し、着実に実行すること。</p> <p>・実施可能な実習計画及び時間割を作成し、着実に実行すること。また、TBLやPBLの実施方法について、実習室で行う演習と同等の教育効果が得られるよう、適切に実行すること。</p> <p>・段階的整備期間中の施設・設備の使用計画について、学生の動線に配慮した使用計画を策定し、着実に実行すること。</p> <p>・理事の選任方法に誤りがあることから、寄附行為の規定に基づき適切に行うこと。</p> |  |  |
| 計  | 3 校    | (3年次編入学定員)<br>3学部 3学科          | 175<br>5   | 認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況 |                |   |  |  |
|    |        |                                |            | (3年次編入学定員)<br>大 学       | Δ 30           | 短 期 大 学   | Δ 110  |  |

(注) 「備考」欄の( )書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

4 大学の通信教育を開設するもの 1校

| 区分 | 大学名   | 学部名<br>学科等名                          | 入学<br>定員       | 位置   | 設置者           | 留意事項  | 備考 |
|----|-------|--------------------------------------|----------------|--|---------------|---|----|
| 私立 | 武蔵野大学 | 教育学部<br>児童教育学科（通信教育課程）<br>（3年次編入学定員） | 入<br>50<br>150 | 東京都西東京市  | 学校法人<br>武蔵野大学 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会からのニーズについて具体的データが示されておらず、入学希望者への説明責任の観点から、募集活動等を行うにあたってはニーズに関しての具体的データも示しながら実施すること。</li> <li>・本人確認の方法としてIDとパスワードの確認のみでは不十分であることから、学生の学力を担保するため、例えばスカイプを利用した口頭試験を組み合わせるなどにより、本人確認の精度を高める工夫を講じること。</li> <li>・添削指導の実施体制および科目担当教員と添削指導教員の連携体制について、申請どおり確実に実施すること。また、非常勤の教員が担当する授業科目について、当該非常勤教員と添削指導教員との連携について支障がないよう努めること。</li> <li>・評議員の選任方法に誤りがあることから、寄附行為の規定に基づき適切に行うこと。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討すること。（武蔵野大学 通信教育部人間科学部人間科学科）</li> </ul> |    |
| 計  | 1校    | （3年次編入学定員）<br>1学部 1学科                | 150<br>50      | 認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況<br>（3年次編入学定員） △ 0<br>大 学 △ 0 短 期 大 学 △ 0 |               |   |    |